

えとこだより



ここにあるすべてを、
かけがえのない
「宝もん」へ。

「トゲソの帽子をかぶって、生徒たちに環境学習を指導する、NPO 法人五泉トゲソの会の中村吉則さん」場所：五泉市立川東小学校前の新江川／片桐淳氏撮影
もくじ ●

阿賀野川流域からの学びを、次世代へ継承していくために

FM事業(※)では、阿賀野川流域の歴史や文化から様々な環境学習プログラムを生み出し、「あがのがわ環境学習ツアー」を通じて流域内外の方々に提供しています。そこでは公害の光と影を巡る体験だけでなく、流域の自然体験や鉱山の歴史学習、現在の地場産業体験など多岐に及び、阿賀野川流域の「ほんもの」を丸ごと学ぶことができます。

こうした地域から得られる様々な学びを、流域の次世代にも継承していくため、小・中学校などでは総合的な学習の時間などが活用されます。しかし、多様化する現代社会に即応すべく、授業科目や授業時間が年々複雑化しつつある影響もあつて、地域と連携した学びの場を準備する余裕が、教育現場から徐々に失われがちになっています。

そのため、地域資源を教育に生かす団体が展開する総合学習支援などがきわめて重要となってきます。加えて、地域の歴史や文化を題材とした教材づくりも、こうした総合学習支援の一つとなるでしょう。今号では、こうした次世代に継承すべき地域学習を後押しする流域の団体や取組を紹介します。

※FM事業とは「阿賀野川えとこだプロジェクト」のこと。詳細はP. 8参照。

この情報誌は環境省の補助を受けて新潟県が発行しています。

昭和30～40年代の日本、高度経済成長の光と影

躍進する日本経済の陰で、四大公害が投げかけた問い、

■ 開催期間

2018. 12/4 ～ 2019. 3/28

■ 開催スケジュール(※下表参照)

平成30年度パネル巡回展

主催 新潟県
共催 新潟市、五泉市、阿賀野市、阿賀町
企画 一般社団法人あがのがわ環境学舎

写真提供：(左から)毎日新聞、読売新聞(3枚)、毎日新聞、世界銀行、鹿瀬工場タイムス、大阪府日本万国博覧会記念公園事務所

新潟水俣病を含む近現代日本の光と影の歴史をテーマとしたパネル展を、下記の各施設で開催します。＜観覧無料＞

展示期間	展示施設	展示時間・備考
12/4(火)～12/17(月)	狐の嫁入り屋敷	9:00 ～ 17:00 毎週木曜休館
12/12(水)～12/26(水)	五泉市立図書館	9:30 ～ 18:30 土曜・日曜9:30～17:00 毎週月曜休館
12/26(水)～1/6(日)	北方文化博物館 屋根裏ギャラリー	9:00 ～ 16:30 正面受付側から入場
1/8(火)～1/20(日)	新潟市北区文化会館	9:00 ～ 21:00 1/15(火)休館
1/11(金)～1/20(日)	安田ショッピングセンター ウインディ	9:00 ～ 20:00
1/23(水)～2/6(水)	新潟市東区役所 南口エントランスホール	8:00 ～ 18:00
2/2(土)～2/17(日)	阿賀野市立図書館	9:30 ～ 16:30 2/4(月)休館
2/13(水)～2/27(水)	新潟国際情報大学 新潟中央キャンパス	9:00 ～ 20:30 土曜・日曜9:00～17:00
2/19(火)～3/4(月)	新潟市秋葉区文化会館	9:00 ～ 21:30 2/25(月)休館
3/5(火)～3/20(水)	阿賀町役場鹿瀬支所ロビー	9:00 ～ 16:30 毎週土曜・日曜休館
3/14(木)～3/28(木)	江南区文化会館内 江南区郷土資料館	10:00 ～ 19:00 毎週金曜休館 日曜・祝日10:00～17:00

「阿賀野川えとこだプロジェクト」とは？

正式には「阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業」(略称FM事業)と言い、阿賀野川流域の各地域が今も続く新潟水俣病と向き合い、それを乗り越えるような「人と人の絆」や「人と自然の関係」をつむぎ直すため、流域の住民・行政・民間団体が手を取り合い、「新しい地域づくり」を目指して始まったプロジェクトです。

阿賀野川えとこだ！憲章(事業理念)

私たちは新潟水俣病に学び教訓を伝承することで、負の遺産から新たな価値を創造していくことを目指します。阿賀野川流域の宝物を広く内外に発信しながら、公害により失われた人と人、人と自然、人と社会の絆をつむぎ直していきます。地域を愛する人が地域の未来をつくる「流域自治」の確立へ向けて行動します。

(阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業推進委員会)

編集後記

第26号はいかがでしたでしょうか？
今号の「阿賀野川えとこだより」は、お知らせする情報が盛りだくさん！五泉市の環境学習取材した「阿賀の宝もん★発掘レポート」第3弾のほか、阿賀野川流域各地を巡る地域再発見講座や、四大公害をテーマに含んだパネル巡回展などのイベント告知が掲載されています。

3月発行予定の次号もご期待ください！



今号表紙の写真「トゲソの環境学習」

湧水の里・五泉の自然環境を象徴する希少種・トゲソなどを教材に、水環境の大切さを次世代に伝えるため、小学校向けの本格的な総合学習支援を展開する「NPO 法人五泉トゲソの会」の取組を紹介しています。

阿賀野川えとこだより 第26号

発行：新潟県(※環境省補助事業) 発行日：2018年10月10日
企画編集：一般社団法人あがのがわ環境学舎(〒959-2221 阿賀野市保田 3866-1)

TEL.&FAX. 0250-68-5424
aganogawa@niigata.email.ne.jp

阿賀野川えとこだ!流域通信
<https://aganogawa.info/>



阿賀野川上流から出発し、
下流に向かって、実際の
現地を巡ります。

津島屋・松浜
「新潟水俣病詩歌集・怒りは川を渡る」(新潟水俣病詩歌集刊行会／新潟日報事業社)

中川造船鉄工所
山口冬人氏撮影

満願寺閘門
「写真アルバム新潟市の昭和」(いき出版)

川砂利採取
分田砂利採取協同組合提供

本尊岩
田辺修一郎氏提供

鹿瀬ダム
東北電力提供

五十島渡船場
立川小三郎氏提供

津川河港
田辺修一郎氏提供

豪華な粗食「秋のイザベラ・バード」
阿賀野川の秋鮭をメインに、イザベラ・バードが秋に阿賀町を訪れたら食したであろう食材をふんだんに盛り込んだ豪華弁当を、阿賀野市の「3sai(さんさい)」さんが提供します！
※写真はイメージです。

初来日から今年で140周年を迎えるイザベラ・バード。
その阿賀流域行路の実際のルートをとる中から、阿賀野川でかつて隆盛した川砂利採取・川舟業・筏流し・船頭・漁業などの川業を学んでいくことで、阿賀野川沿岸の産業や生活における「歴史や文化」「光と影」に対する理解を深めていただきます。

集合・解散 新潟駅南口(貸切バス乗り場) **定員** 各回20名 **料金** 1000円/名
(※昼食代)

申込方法 下記必要事項をご記入の上、**10月25日(木)17時まで**に下記宛先までFAX・メール・電話にてお申し込みください。参加者を抽選にて決定し、当落結果のお知らせを申し込まれた方全員に宛てて、10月26日(金)に郵送します(※申込者へ結果が到達するのは翌週以降となります)。

参加申込書



地域再発見講座 阿賀野川ものがたり 第21回

※いただいた個人情報は、「地域再発見講座・阿賀野川ものがたり」の実施、「阿賀野川エコミュージアムを目指す流域再生フォーラム」の開催案内、及び、「阿賀野川えーとこだり」の送付を目的とした用途以外に使用することはありません。

フリガナ お名前						ご住所	〒				
電話番号	※当日連絡が取れる携帯電話番号優先					第一希望 希望に○	11/4	11/11	第二希望 希望に○	11/4	11/11

※第二希望がない場合は、第一希望欄のみご記入ください。

お問合せ・お申込み先



一般社団法人
あがのがわ環境学舎

TEL&FAX 0250-68-5424 ✉ aganogawa@niigata.email.ne.jp

特集 1 シリーズ 地域再発見講座 阿賀野川ものがたり **第21回**

阿賀野川の上流から下流をめぐる旅
**イザベラ・バードがたどった
阿賀流域行路から学ぶ
阿賀野川の川業**
～川砂利採取・川舟業・筏流し・船頭・漁業の光と影～

1回目 ツアー 11/4(日) 2018
2回目 ツアー 11/11(日) 2018
時間 8時45分～17時 (※両日とも同内容のツアーを実施)

主催：新潟県 後援：新潟市・五泉市・阿賀野市・阿賀町
企画・運営：一般社団法人あがのがわ環境学舎

イザベラ・バードの足跡から、流域の光と影を現地でたどる

田辺修一郎氏提供

Wikipedia引用